

三中だより

令和7年度 12月号



令和7年12月9日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 R7 No.7)
校長 下斗米八穂

自分を大切に

みんなで応援しています

～ 12月全校朝礼 校長講話より ～

いよいよ年の瀬になってきました。

今日は、皆さんに自分を大切にしてほしい、そして私たちも皆さんを大切にしたいという、2つのお話をします。

12月に入ると、世の中は一気に年末・年始の賑わいに変わります。

さて、この大切な時期であるからこそ、三中では全学年で三者面談を行っています。三年生は進路を考える大切なタイミングですが、それだけが理由ではありません。

ではどうしてこの12月に、三学年一斉に三者面談を行うのか、その意味を今一度一緒に考えてみましょう。

春、4月に入学や進級をして、この12月までに約8か月を過ごしました。緊張もあった新しい顔ぶれの学級も、日常や行事と一緒に形作って、教室ごとに個性のある集団が作れてきたものと思います。

この仲間たちと作る集団の中で、あなたは何ができるようになってきたでしょうか。小さくて、ささやかなことで構いません。一步前に出る挑戦の勇気をもってみたり、その勇気をみせた仲間を支えてみたりして、関わり合った場面がいくつ思い浮かぶでしょうか。

12月の今、振り返ってみて、勉強の進み具合はいかがですか？

学校の勉強とは、教科毎の授業を通して、新しい知恵や技術と出会います。併せて、学んだことを自分のものにしながら、「考える力」「判断する力」「表現する力」を伸ばします。そして、生み出されたいろいろな考え方や表現に触れて、自分が前に進む力を手に入れます。この一つひとつが、この8か月のあなたの成長です。この成長をいくつ数えることができるでしょうか。

こうした自分のことを、保護者の皆様や先生方といった周りの方々と一緒に振り返るのが三者面談です。面談で集う周りの人というのは、お家の方と先生です。自分としては頑張ってきて、こんな感じだと思う。では、一番近くであなたを理解している方から見える自分はどんな感じだろうか。あるいは、うまくいっていないくて相談したいこともあるんだけど、などなど。



そして、次はどこに力をいれて頑張っていこうかな。冬休みや三学期はどんな風に過ごそうかな。



このようなお話は、日々いつでも声をかけ合ってよいことなのですが、この年末の節目のタイミングで、三者そろってみんなで集まって時間をとりましょう、というのが三者面談なんですね。

あなたの過ごしてきた時間や、これからチャンスについて一緒に考えることは、あなたを主役としてあなたを大切にして考える時間です。

一人で考えるだけではなく、みんなで考えることに意味があります。ですから、三者面談で集う保護者の方と先生は、あなたの応援団です。担任の先生の後ろには、いつも皆さんを応援している三中の先生方がいます。あるいは、登下校をはじめとしていつも見守ってくださる地域の方々も応援団の一員です。たくさんの方が、皆さんを応援して、支えてくださっています。

終業式までまだ少し日があります。今年の締めくくりとして、「ここから頑張ってみようかな」と思うことを一つでも考えてみてください。

二学期の学校生活を締めくくる終業式まで、そして新年を迎える元旦の朝まで、12月の街の勢いに流されることなく、自分の足元に力をいれ、しっかりと踏みしめて、過ごして行きましょう。

2つ目のお話は、「皆さんを大切にする」という視点で、先月の朝礼のお話を思い出すところから考えます。11月の朝礼では、相手が嫌がることはしない。相手が嫌がることを楽しむようなことはしない。相手が嫌がる行為は許さない。というお話をしました。

相手が楽しいときこそ、一緒に楽しく過ごせるような仲間でいてほしい、というお話をしました。あれから一か月、皆さんの周りの様子はいかがでしょうか。

さて、ここで言う「嫌なこと」というのは、身体に苦痛を感じる暴力だけでなく、繰り返し傷つく言葉を言われたり、脅されるような言動で精神的に苦痛を感じたりする行為も含んでいます。この暴力は、どんな理由があっても、誰であっても決して許されるものではありません。

今日のお話は、生徒同士の間で決してあってはいけないことですが、これは学校の先生やその他の人たちも同様であるというお話です。先生方も、皆さんを大切に思い、嫌な思いをして過ごすことのないように日々を過ごしています。

もしも先生が、生徒の皆さんに対して指導の際に叩いたり蹴ったりする肉体的な苦痛を与える行為をしたら、それは体罰と言って禁止されています。肉体的な苦痛でなくても、繰り返し暴言や心を傷つける言葉を言ったり、机を蹴ったりして威圧をするなど、精神的な苦痛を与えることも不適切な行為になります。

また、性的な言葉や行動で人を傷つける行為を性暴力といいます。相手が嫌がっているのに体を触ったり、性的なメッセージを送ったりするような性暴力も、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されないことです。

そこで、もしもあなたが体罰や性暴力の被害にあいそうになったら、または被害にあってしまうようなことがあったら、一人で抱え込んだり悩んだりしないで、家族や先生、養護教諭やスクールカウンセラーなどの信頼できる大人に知らせてください。もちろん、校長室の扉をノックしてもらっても結構です。

もしも、体罰や性暴力を受けている相手が学校の先生だった場合や、学校には話しにくい場合には、皆さんが学校以外にも話せる場所が幾つかあります。

まず、1学期にも配布したこの相談シートを、もう一度配ります。この用紙に話したいことを書いて糊付けをすると、切手を貼らなくても郵送で送ることができます。また、用紙に書かれているメールアドレスや二次元コードで読みとった先の電話番号に連絡をすると、体罰や性暴力に関する話を聞いてくれて、困っている皆さんのお話を助けてくれます。

また、もう一枚の資料も配ります。この資料に載っている電話番号に連絡をして相談をすることもできます。

自分のことだけでなく、友達が体罰や性暴力を受けていると思ったときにも、迷わず知らせてくれださい。

私たち先生は、生徒のみなさんのこころと身体を大切に守りたいと思っています。

そのためにも、一人で悩まず、どうか知らせてくれださい。



※ 保護者の皆さんには、関係資料をスクリレ掲示板にて、
12/8にお知らせしております。ご確認ください。

《全日本ジュニア選手権大会 荒川区中学生バドミントン運営委員会》

令和7年度全日本ジュニア選手権大会荒川区予選会

◆バドミントン部

男子ダブルス 第1位

さん

さん

女子シングルス 第3位

さん

男子シングルス 第3位

さん

《 生徒の活動の成果 》

《第74回荒川区民スポーツ大会》

◆バドミントン部

中学生男子ダブルス 第3位

さん

さん

《 教育活動のご紹介 》

学校ホームページでは、

荒川三中の日常の様子をご紹介しています。

ほぼ毎週更新をしています。ぜひ、ご覧ください。

